

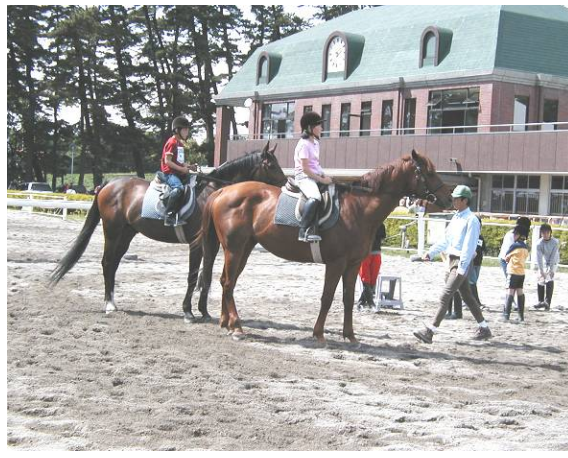
# 山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

## 【群馬県馬事公苑】 <http://gunma-bajikouen.jp/>

群馬県馬事公苑では、誰でも乗馬をすることができ、初心者から上級者まで、体験者のレベルにあわせたレッスンを受けることができます(乗馬の場合は小学3年生から)。団体の場合は概ね30人まで実施可能です(直接お問合せください)。

人と馬の関係の歴史は古く、60年ほど前までは、馬は交通手段や農耕の動力として、生きていくために不可欠な存在でした。生活スタイルが大きく転換し、一般的には馬は非日常の存在となりましたが、スポーツとしての乗馬やホースセラピーなど、人と馬の遠い昔から続く心のつながりが注目されています。私たちに与える馬の存在を改めて考えるきっかけにもなると思いますよ。(文:柴崎)



- 所要時間:交流の家から車で5分
- TEL:027-288-7002
- 前橋市富士見町小暮 2425
- 主な体験内容:レッスン付乗馬(45分。小学3年～高校生3000円、大人3800円)、ポニー引き馬(3歳以上～小学生400円)、教育機関等による乗馬活動受け入れ、各種乗馬教室(随時)。

## リレーcolumn すたっぷの目

文:広沢 晋吾【ひろさん】

趣味:つりのアイテム「ルアー」  
収集。 お気に入り♡→



この職場で働いていてこんなこと言うのも変ですが“自然体験っていいですね〜。”交流の家で活動をする子どもたちをみて、日々感じることです。ほんの数日間の関わりですが、友だちとの関係が、より深い結びつきになっていく感じが伝わってきます。

おそらく、友だちと一緒にカレーを作ったり、登山で山頂を目指していく過程で、苦しい思いや美しい景色を共有したり様々な体験をすることで、友だち関係に厚みが出るんじゃないかと思っています。そして、こういう機会を繰り返すことで、自立とか自主性、協調性 etc...といったものが身に付いてくるんだと思います。たぶんこういう機会は、昔は身近にたくさんあったんですよね。今は...?

では、問題です。Q1. こういう機会は誰が...!? → A. 「私たち大人たち」です。Q2. どこで...? → A. 「あかぎ」です。Q3. いつがいいの...? → A. 「いま」です。是非、メールや電話でお問合せください！お待ちしております。(^\_^)/



笑顔に白い歯が光る筆者  
愛称「ウズ」。

「所長のつぶやき」  
「トピックス」更新中

## 今月の つぶやき田

- 最近の赤城山は、霧のかかる日が多くなってきました。山中を運転するときは安全運転をより心がけることが重要です。(田村)
- お正月、お餅をいっぱい食べて、今年一年、元気に粘り強く仕事に取り組みます！(小野里慶)
- 新年明けましておめでとうございます。富士山がよく見える季節になりました。皆さん、富士山と前橋の夜景をぜひ見に来てください。(坂田)
- インフルエンザなどの流行する季節です。手洗い、うがい、体力の保持で乗り切りましょう。「早寝早起き朝ごはん」ですね。(鈴木)
- 寒い寒い赤城ですが、星と夜景がとっても綺麗な季節です。皆さんも、赤城の施設にて星空観察はいかがでしょう？(神山)
- あけましておめでとうございます。あつという間に2012年が始まるうとしています。今年もよろしく願いいたします！！(星野)
- 10月から一ヶ月間、市街から赤城を眺めると、交流の家の右に牛の顔の影が。それが稲刈の時。豊作と共に帰ってきたオノさんです。お気軽にご使用下さい。(オノさん)
- 昨年の皆既月食！赤城は教育事業の最中で、参加者の皆さんは就寝時間を忘れて天文ショーに釘付け。この日ばかりは「早寝！」とは言えませんでした(笑)(石川)
- ツリーイングってやったことありますか？最近楽しく気持ちよく登れる樹を探しています。来年度から本格的に指導が始まる予定！是非体験してみてください。(山崎)
- 新年を迎え、新たな気持ちでスタート!! また一つ年をとってしまいましたが、初心を忘れず充実した日々が過ごせればと思います。(阿佐美)
- 赤城で、からっ風の中、走りまわってみよう!!(佐藤)
- 君の笑顔の消えた世界に比べたら、冬の赤城も夏の沖縄に思えます。君の笑顔に誘われて、春の日差しよ、凍えた僕の心を、早く融かしてくれ。(新井)
- 新年を迎えての抱負。「出来る事を考えて、実行へ。一步を踏み出さなければ。頑張れ！自分」私らしく笑顔でいこう！(武笠)
- 赤城に来て初めての冬を迎えます。どんな感じなのか、なんとなくワクワクです！(^\_^)今年もよろしくお祈りしますm(\_)\_m(廣澤)
- 赤城での3回目の冬。寒さは厳しいけど、絶景の山並みと夜景が見られるのもこの季節。今年もこの景色に癒されています。(西田)
- 今月のつぶやきは、「出身地別、北から南！」で掲載しています。ちなみに最北端が新潟、最南端が宮崎。全体で単身赴任者は7名という構成。上州率高し！(柴崎)
- 乾燥の冬、肌荒れ注意！→自分(大澤)
- 昨年のクリスマスイブは当直でした。予定があったのにキャンセルで残念です。と、言えるような立場に今年こそなりたいと思います...。(秋山)
- 木々は落葉し下草も枯れて、いよいよ冬本番。でも、ロウバイは蕾を膨らませ、蠟細工のような上品な姿を一番に披露したいと主張しているようです。(島崎)
- 早いもので赤城に来て10ヶ月目に入った。何ができたのかと思うと、まだまだ努力が足りない、反省ばかり。今年も、前のめりに生きよう。(桜井)
- 2012年の抱負は『Cゾーン(快適領域)を越えること！』女30歳。先を考えすぎずやってみようと思います。今年もどうぞよろしくお祈りします~(川崎)
- 赤城で初めて迎える冬！同じ前橋市でも平野部と気温が全然違って、めちゃくちゃ寒いですがね。坂道が凍結してないかびびっている毎日を送っています。(中屋)

次号は、  
3月8日発行予定！

《Web版カラゴロリもどうぞ！》

配信登録は、右のQRコードを読み取りとり、メール作成画面に進み、空メールを送信してください。



## 風のおと

あけまして  
おめでとうございます

おめでとつと言いつつ、東北で被災された方々のことを思うと、心が痛みます。しかし、みんなで暗くなっても仕方ありません。私たちは、元気に明るく、年の初め、朝日に向かって顔を上げ、笑顔をつくらうではありませんか。

そして、私たちのエネルギーを被災された方々や、そのほかにも大変な思いをしている人たち、そして、子どもたちに、精一杯役立てようではありませんか。

赤城青少年交流の家は、1971年4月の開所ですので、40周年

## 風と太陽のくにからの通信誌

# カラゴロリ



新春号



## Tomorrow is another day.

## 「明日という日がある」

スズメに似た、こんな鳥を見かけることはありませんか？ジョウビタキという渡り鳥です。モンゴル・中国などから、越冬するためにやって来ます。新しい年になりました。気持ちを新たに、今年が良い年になるようがんばっていきましょう。

(絵と文:金井麻耶)

になります。40年間の事業で、長く続く、赤城ならではのものが寂しいです。

そこで、これから先30年、50年にわたって、提供し続けられるプログラムを、今年から考えていきたいと思っています。

人が変わっても、そのプログラムが受け継がれることで、赤城らしさが守られていくのです。そんなプログラムが、ここには必要だと思うのです。お力をお貸しください。

## 国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: [akagi@niye.go.jp](mailto:akagi@niye.go.jp)

赤城 カラゴロリ

検索



## 5年目の節目を終え、フォーラムに幕

12/10~11 1泊2日  
【青少年自立支援者のための研究交流フォーラム】レポート

青少年の自立に取り組んでいる支援者及び自立支援に関心を有する人々を対象としたこの事業。講師の事例発表や先進的な事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ、課題解決に結びつく情報の提供・交換を通して、参加者相互の連携を深めると共に、総合的な支援活動の充実を目的に実施しました。

5年目（5回目）となるこのフォーラム。晴天の中、全国各地より90名の方々が集まり、熱気あふれる各分科会場では、さまざまな情報交換や研究協議が進められました。

「5年目の総括」ということで、開会式において、実行委員を代表して「くりこま高原自然学校」の佐々木豊志さんから、これまでの歩みを説明いただきました。

また、「施設見学」では、全国唯一の国立重度知的障害者総合施設である「のぞみの園」（高崎市寺尾町）と「前橋少年鑑別所」（前橋市岩神町）を訪問しました。特に前橋少年鑑別所では、いかに少年少女の話を聞き、ケアを行い、社会に戻れる促しをしていくかの解説と、施設の案内をしていただきました。現場の様子を知る貴重な機会となりました。



グループディスカッション、意見交換の様子=12月11日、交流の家講堂にて

後半のパネルディスカッションでは、実行委員から各自の青少年自立支援の活動に対する思いや取り組み状況をお話いただきました。参加者からの意見、小グループでの話し合いでは、フォーラムが取り組んできたものの意義や今後期待するフォーラムの姿についても意見交換をしました。

終了後、参加者の方からは「様々な分野で活躍されている人のいろいろな話が聞けて新しい気づきがあった」「出会った多くの人とのネットワークをこれからも大切にしていきたい」という声がありました。

フォーラムとしての事業は一度ここで区切りをつけます。

しかし、事業が終わったからといって、ネットワークまで消えてしまっただけでは、元も子もありません。これまで得た情報、日本各地の動きをもとに、ここで紡いだネットワークを、どう形にしていけるか問われています。今後、違った形でこの精神が受け継がれていることを望んでいます。これまでのお力添え、ありがとうございました。（文：坂田）



## プログラム紹介！

赤城青少年交流の家では、自然体験・スポーツの他にも様々な「創作・文化プログラム」を体験することが出来ます。その中でも人気のプログラムの一つが「てん刻」です。書画の中などに印が押されているのを見たことがあるでしょうか。その印を手作りで作成します。講師の方の手ほどきを受けながら実施しますので、初心者の方でも心配ありません。

印字する文字は、思い思いのものを決めます。自分の好きな漢字や名前の一字にする方が多いようです。それを印材（印鑑となる柔らかい石）に写し、印刀で削ります。片付けまで含め、約3時間で完成させることが出来ます。

一生の思い出に残る、世界に一つだけの自分だけの印を、赤城で作ってみませんか。（文：西田）

※体験は要予約。講師料・材料費が必要です。実施人数は30名程度まで。詳細はお問い合わせください。



赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

## この人に会いたい



GUCCIのサングラスがトレードマークです。

●自然観察プログラム講師

しのはら ゆたか  
篠原 豊さん  
（元小学校教員/  
赤城姫を愛する集まり事務局長）

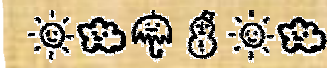
篠原さんは、赤城青少年交流の家の講師陣の中では、“もっとも古株な方”のおひとりです。元々小学校の理科の先生で、いくつかの小学校を歴任された後、前橋の中央小学校を定年退職されました。トレードマークのサングラスが似合う、粋な自然案内人です。

先生は在職当時から「赤城姫（ヒメギフチョウ）を愛する集まり」の運営に関わるほか、最近では「あかぎ自然塾」の運営やNPO化にも尽力されました。自然の動植物に関する膨大な知識は、交流の家職員の知恵袋として最も頼りになる存在です。また、優しく子どもから大人までが興味を引かれる語り口で、楽しく自然を案内して下さいます。

最も得意とする専門分野は鱗翅目（りんしもく）。つまりチョウやガの仲間です。特に赤城山周辺で絶滅が危惧されているヒメギフチョウを守る活動を長年続けておられ、地元の小学校と連携した保護活動を続けておられます。

最近では、私たちに「美味しい果実酒の作り方」を教えてくださいました。その教え!?を活かして、今年はこっそり美味しいお酒を…とたくらんでいます（笑）。（文：石川）

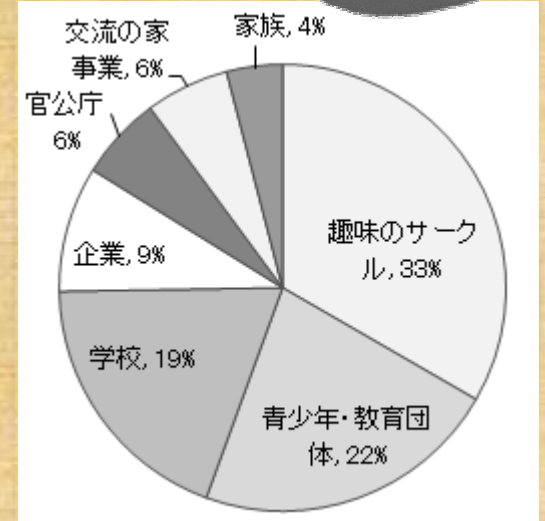
## 利用のようす(11~12月)



■11月の利用者数  
…8,136人 89団体

■12月の利用者数  
(12/25見込み)  
…5,937人 51団体

★利用団体  
種類別の割合⇒



## みなさんの声

### 利用にあたりよくある質問

Q1 現金は預かってもらえますか？  
⇒現金や貴重品は、お預かりしていません。ご自身での管理をお願いします。講堂脇のコインロッカー（100円返却式）もご利用いただけます。

Q2 道を調べた時、カーナビに表示されないのですが？  
⇒平成18年に名称を変更しているため、現在の『国立赤城青少年交流の家』では検索できないものもあるようです。おそらく、カーナビも旧名称のままになっていると思われます。以下のデータを元に検索してみてください。

- 旧名称：国立赤城青年の家
- 旧住所：群馬県勢多郡富士見村赤城山27
- 旧電話番号 027-288-3131



※赤城山の沼付付近には、『前橋市赤城少年自然の家』がありますので、お間違えないように！

Q3 飲み物や食べ物を持ち込むことはできますか？  
⇒飲食物の持ち込みは、食中毒防止のためご遠慮いただいております。教育的な事情等がある場合はご相談ください。ただし、熱中症防止のための飲み物は、持ち込んでいただいても大丈夫です。ゴミはお持ち帰りください。

飲み物は食堂売店でも購入できます。冷えたものもご用意できます。食堂売店へ直接連絡してください。

### アンケートより

★使用場所・活動プログラム・活動の紹介など、初めての利用なので、もう少し助言してほしかった。

⇒初めての場所で、初めての活動するのはとても大変なことだと思います。私たちも、利用するみなさんにスムーズに活動していただけるようご相談にのったり、アドバイスをしたり心がけておりますが、なかなか行き届きません。よりよいプログラムを行うためにも、まずは、下見と事前打ち合わせをお勧めします。分からないこと、疑問は遠慮なくお尋ねください。プログラムの成功の秘訣は『準備が8割！』です。

### ◆◆◆プログラム概要◆◆◆

|             |  |
|-------------|--|
| 1<br>日<br>目 | <p>&lt;交流分科会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 知的発達障害(児)者の自立支援プログラム</li> <li>② 動物介在療法(アニマルセラピー)</li> <li>③ 不登校・ひきこもり・ニートの青少年の自立支援プログラム</li> <li>④ 施設見学(国立施設のぞみの園)</li> <li>⑤ 東日本大震災における被災者支援を通じた青少年の自立支援プログラム</li> </ol> <p>&lt;体験分科会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 知的・発達障害(児)者の自立支援プログラム</li> <li>② あかぎアドベンチャープログラム</li> <li>③ 施設見学 前橋少年鑑別所</li> <li>④ 施設見学(国立施設のぞみの園)</li> <li>⑤ 木登を通して、青少年の心を育むプログラム(ツリーイング)</li> </ol> |
| 2<br>日<br>目 | <p>&lt;活動発表&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトワード・バウンド協会活動報告</li> <li>・東日本大震災 復興支援活動報告</li> <li>・吃音活動報告</li> <li>・自然環境応援団活動報告</li> <li>・多文化共生活動報告</li> </ul> <p>&lt;パネルディスカッション・意見交換&gt;</p>  |



## これからの動き



■1/29(日)  
【ミステリーな  
科学実験教室】  
※日帰り

■2/11(土)・12(日)  
【小学生交流バス  
ケットボール大会】  
※日帰り

■2/25(土)・26(日)  
【小学生交流  
野球大会】  
※日帰り

■3/3(土)・4(日)  
【中学生交流  
春季野球大会】  
※日帰り

■3/10(土)・11(日)  
【中学生交流  
ソフトボール大会】  
※日帰り

※これらの事業は、「子ども夢基金 体験の風リレーションシップ事業」です。